

2024年春、 北陸新幹線 福井・敦賀延伸!

福井・敦賀延伸!

2024年3月16日

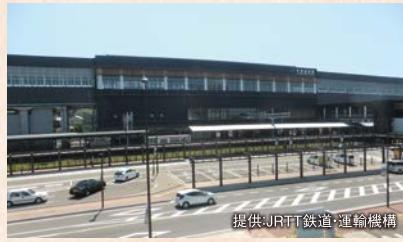
とうとう福井県にも

北陸新幹線がやってきます。

県内には4つの駅が設置され、各駅からさまざまな観光地に足を延ばすことができます。

エリアによって特徴があるのも福井ならでは。

駅からは私鉄やバス、レンタサイクルなど2次交通を使って足を運んでみては。



芦原温泉駅

福井が誇る温泉街と海の絶景を

駅名の通り、“関西の奥座敷”と呼ばれるあわら温泉(p28)に一番近い駅。また東尋坊(p8)やサンセットビーチ(p29)で日本海の絶景を楽しめるほか、冬になれば越前がに(p60)を堪能できる。



福井駅

福井の中心地、ハブ拠点として



各私鉄の発着地点でもあり、一乗谷朝倉氏遺跡(p36)や永平寺(p30)、福井県立恐竜博物館(p14)観光地へのアクセスも便利。駅周辺にも戦国時代や幕末の遺跡(p46)も多く、まち歩きを楽しむ。

越前たけふ駅

ものづくりのDNAが集まる場所

福井県の伝統工芸品(p48~p55)や国内最大の生産量を誇るめがね(p57)など、ものづくりの集積地でもある丹南(たんなん)地域。歴史的な名所(p40、41)に加え、日本遺産の地(p34)である。



駅に着いたら2次交通で
福井をより楽しむ



県内各地を走る私鉄(ハピラインふくい、福井鉄道、えちぜん鉄道)や越美北線を使えば、よりディープな福井を楽しむこともできる。車窓からの絶景や何気ない風景にも福井の魅力を感じられるはず。



三方駅(若狭町)

三方五湖を望むレインボーライン(p22)にほど近く、先人の暮らしを知る若狭三方縄文博物館(p81)に、7万年もの地球の歴史を見える化した福井県年縞博物館(p80)など、学びの施設が揃う。

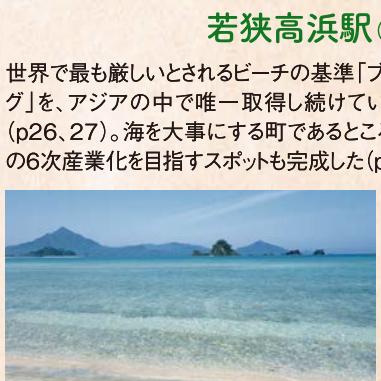
小浜駅(小浜市)

「海のある奈良」とも呼ばれ、寺社仏閣の数はかなり多い(p24、82)。それだけ海を通じての人の流れがあり、県内の伝統工芸品8つのうち2つが小浜にある(p54、55)。派生した塗り箸の国内シェアは1位を誇る。



若狭本郷駅(おおい町)

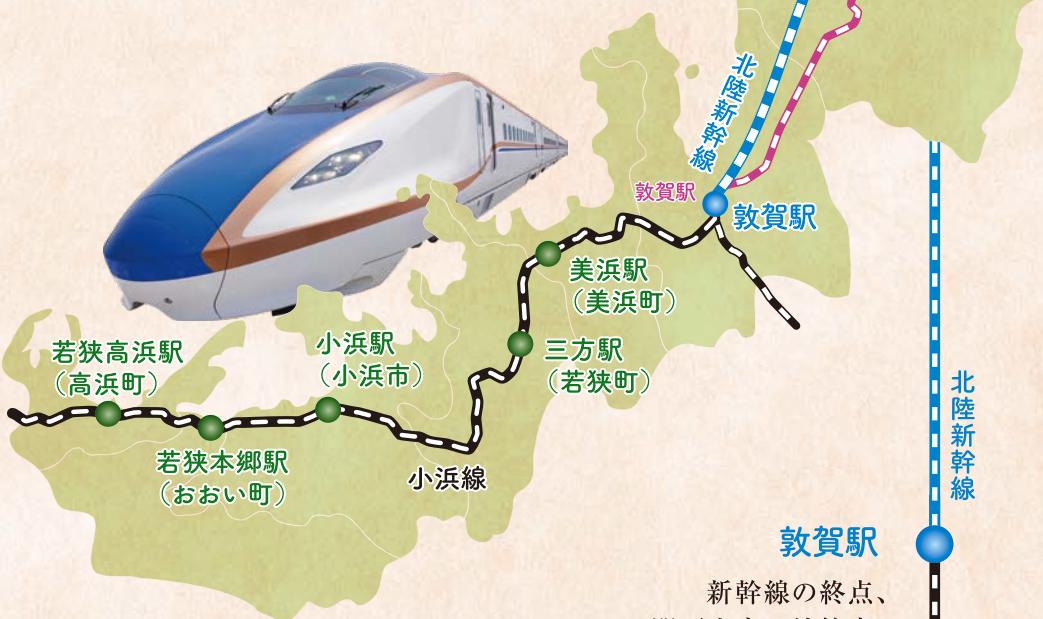
海と科学ど“公園”がすべて詰まつたうみんぴあエリア(p84、85)と、自然と歴史を学ぶスポット(p82、83)が点在する山に抱かれた名田庄エリアという2つの顔を持つ(p26、27)。



若狭高浜駅(高浜町)

世界で最も厳しいとされるビーチの基準「ブルーフラッグ」を、アジアの中で唯一取得し続けている高浜町(p26、27)。海を大事にする町であるところから漁業の6次産業化を目指すスポットも完成した(p84)。

小浜線



敦賀駅

新幹線の終点、
関西中京の結節点、
そして若狭路への玄関口



美浜駅(美浜町)

透明度の高い水晶浜(p23)に加え、信長・秀吉・家康が一堂に会した若狭国吉城跡地(p82)があるほか、エネルギーを楽しみながら学べる施設・きいばす(p83)や三方五湖(p22)にもほど近い。

北陸新幹線

小浜線